

令和5年度  
必履修科目に関するシラバス  
(令和3年度入学生)

2

桜井高等学校

令和5年度シラバス

科目：世界史B	単位：4	学科：普通科	学年：3年 選
教科書：山川出版社「詳説世界史改訂版」		補助教材： 浜島書店「ニューステージ世界史詳覧」 啓隆社「実力トレーニング世界史」 啓隆社「新世界史要点ノート[応用編]」 啓隆社「世界史重要語句 check List」 山川出版社「大学入学共通テスト 世界史トレーニング問題集」	
科目の概要と目標：近現代史を中心に世界史的な視野に立ち、各国の歴史、文化を考察させる。また2年時に学習した古代中世の歴史とつなげしっかりした歴史観を養う。			
単元	学習内容	到達目標	
近世ヨーロッパ世界の展開	重商主義と啓蒙専制主義 ヨーロッパ諸国の海外進出 17～18世紀ヨーロッパの文化	ヨーロッパの主権国家体制と海外進出、および社会と文化について把握できる。	
近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命とナポレオン	産業革命と大西洋世界での政治的変容について理解できる。	
欧米における近代国民国家の発展	ウィーン体制の成立 ヨーロッパの再編 南北アメリカの発展 19世紀欧米の文化	ヨーロッパでの自由主義・国民主義の高まりや国民国家の形成、アメリカの工業化の進展について理解できる。	
アジア諸地域の動揺	オスマン帝国支配の動揺 南アジアの植民地化 東アジアの激動	アジア諸帝国の支配体制の動揺とヨーロッパの進出による植民地化、それに対抗する主体的な動きについて理解できる。	
帝国主義とアジアの民族運動	帝国主義と列強の展開 世界分割と列強対立 アジア諸国の改革	企業・国家の巨大化と帝国主義諸国の抗争、アジア・アフリカの対応について理解できる。	
二つの世界大戦	第一次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制 アジア・アフリカの民族運動 世界恐慌とファシズム 第二次世界大戦	第一次世界大戦、ソヴィエト連邦の成立、世界恐慌とファシズム、第二次世界大戦など国際社会の動向と平和の意義について理解できる。	
冷戦と第三世界の独立	戦後世界秩序の形成 米ソ冷戦の激化 第三世界の台頭 石油危機と世界経済の再編	米ソを中心とする両陣営の対立、第三世界の台頭、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える諸問題について理解できる。	
現代の世界	社会主義世界の変容 途上国の民主化 地域紛争の激化 現代文明の諸特徴	冷戦の終結と多極化、地域紛争、環境や資源・エネルギーを巡る問題について考察できる。	

令和5年度シラバス

科目：日本史B	単位：4	学科：普通科	学年：3年 選
教科書：山川出版社 「詳説日本史改訂版」		補助教材： 浜島書店「新詳日本史」 啓隆社「新日本史要点ノート〔応用編〕」 啓隆社「日本史重要語句CheckList」 第一学習社「詳録新日本史史料集成」 山川出版社「日本史用語集」 三平商会「ポテンシャル日本史 基礎力養成編」	
科目の概要と目標：我が国の歴史の展開を世界史的視野に立って総合的に考察させ、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。			
単元	学習内容	到達目標	
幕藩体制の動揺	幕政の改革 幕府の衰退 化政文化	幕藩体制の動揺と近代化の基盤の形成について理解できる。	
近代国家の成立	開国と幕末の動乱 明治維新と富国強兵 立憲国家の成立と日清戦争 日露戦争と国際関係 近代産業の発展 近代文化の発達	我が国の近代化の推進について考察できる。 我が国の立憲国家としての展開に考察できる。 近代産業の発展と近代文化の特色について考察できる。	
近代日本とアジア	第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 市民文化 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦	第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察できる。 政党の役割と政治や社会運動の動向及び文化の特色について考察できたか。  対外政策の推移と戦時体制の強化など第二次世界大戦と日本の関わりについて考察できる。	
占領下の日本	占領と改革 冷戦の開始と講和	アメリカによる占領、民主化の推進と改革、冷戦の始まりと占領政策の転換、朝鮮戦争と講和について考察できる。	
高度成長の時代	55年体制 経済復興から高度成長へ	戦後の経済復興、技術革新と高度経済成長、経済の国際化について考察できる。	
激動する世界と日本	経済大国への道 冷戦終結と日本社会の動揺	現代世界の動向と日本の課題及び役割について考察できる。	

令和5年度シラバス

科目：地理B	単位：4	学科：普通科	学年：3年 選
教科書：帝国書院 「新詳地理B」 帝国書院 「新詳高等地図」		補助教材：「新詳地理資料」 「ウィニングコンパス地理の整理と演習」 「新地理Bの研究」	
科目の概要と目標：現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
単元	学習内容	到達目標	
1節 世界の人口	世界の人口分布・増加	・世界人口の分布特徴、人口動態、人口構成と人口転換を考察する。	
2節 人口問題	世界の各地域の人口問題	・発展途上国と先進国の人口問題を考察する。	
3節 村落と都市	村落と都市の形態・機能・生活	・都市と村落の立地・発達・機能の特徴を考察する。	
4節 都市・居住問題	世界と日本の都市・居住問題	・都市問題の要因と解決方法を理解する。	
4章 生活文化、民族・宗教		地域的差異を大観し、衣食住と社会のかかわり、日本の衣食住の変化を考察する。	
1節 生活文化	衣食住の多様性と画一化	民族・宗教・言語のかかわりと特徴を理解する。	
2節 民族と宗教	多様な民族と文化	領域・国境のきまりや、国家の分類を理解する。	
3節 現代世界の国家	領域・国境・主権	民族・領土問題を大観し、日本の民族・領土問題と世界の民族の共生についての課題を考察する。	
4節 民族・領土問題	紛争の現状		
第Ⅲ部 現代世界の地域区分	地域区分とは何か	さまざまな地域区分の方法と、地域区分の意義について理解を深める。	
1章 現代世界の地域区分	地域区分のスケール		
2章 現代世界の諸地域		地域区分の指標について理解する。	
1節 地誌の考察方法	自然・文化・形式による区分	近隣諸国の生活に対する関心を高め、異文化を尊重することの必要性、交流について積極的に考えようとする。	
2節 東アジア	変化に富んだ地形と気候 中国と朝鮮半島	東南アジアの地域の多様性について、基本的事柄や追究の方法を理解する。	
3節 東南アジア	モンスーンの影響を受ける東南アジア 多様性に富む文化・民族	この地域の言語・宗教の多様性と伝統的な価値観を知るとともに、都市部での急速な生活の変化を考察する。	
4節 南アジア	3区分される南アジア インドの変化	西アジア・中央アジアの地理的事象について、基本的事柄や追究の方法を理解し、知識を身に付ける。	
5節 西アジアと中央アジア	2つの地域の自然 イスラームの影響	対照的な2つの地域を比較し、共通性と特殊性を考察する。あわせてこの地域が抱える問題を知る。	
6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ	2つの地域の気候と植生 人々の生活の変化	ヨーロッパの国を越えたまとまりを地誌的に理解し、地誌的に捉える方法や知識を身に付ける。	
7節 ヨーロッパ	温暖な気候と安定した大地 結びつくヨーロッパ	ロシアの歴史と社会の変化を考察し、極東と日本の結びつきについて知る。	
8節 ロシア	広大な国土と多様な自然 様変わりしたロシア産業	アメリカ合衆国の成り立ちを理解し、世界の中のアメリカ合衆国の位置について考察する。	
9節 アングロアメリカ	異なる自然環境 アメリカ合衆国	この地域の生活・産業が過去の歴史と密接に結びついていることを知り、ヨーロッパの影響を知る。	
10節 ラテンアメリカ	南北と標高で異なる自然	環境問題、資源・エネルギー問題、食糧問題、人口問題、民族問題、領土問題など諸問題について考察する。	
3章 現代世界と日本	安定成長期の日本 日本の地理的諸課題		

令和5年度シラバス

科目:日本史A	単位:2	学科:土木科	学年:3年 選
教科書:第一学習社「高等学校改訂版 日本史A 人・くらし・未来」		補助教材:浜島書店「新詳日本史」	
<p>科目の概要と目標:          近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を、我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させることによって、歴史的思考力を養う。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
第1部 私たちの時代と歴史			
第2部 近代の日本と世界 第1章 近代国家の形成と国際関係の推移	近代への胎動	近代を迎える日本の状況と日本が抱えていた内憂外患について考察する。	
	明治維新	アヘン戦争とアメリカの登場、開国、開国の影響について考察できる。  尊王攘夷と公議の運動、新秩序の模索と内戦、身分制の廃止と国民の創出、士族反乱の鎮圧について考察できる。	
第2章 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢	近代国家の確立	自由民権運動の展開と憲法制定等に続く立憲政治の展開について考察できる。	
	対外関係の変化 政党政治の展開	日本の政党政治の発展とワシントン体制について考察できる。	
	近代産業の発展と社会運動の展開	日清日露戦争の影響と産業革命を経た日本社会の変容について考察できる。	
第2章 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢	国民生活の変化と文化	金融恐慌の発生、世界恐慌と禁輸出解禁、田中内閣外交と内政、満州事変の勃発、日本の国際連盟脱退、政党内閣崩壊、二・二六事件について考察できる。	
	第一次世界大戦と日本	日中戦争の勃発・長期化、第二次世界大戦の勃発、新体制運動、日独伊三国同盟、日米開戦、敗戦への道、ポツダム宣言受諾について考察できる。	
第3部 現代日本と世界 第1章 現代の日本と世界	日本の再出発	アメリカによる占領、民主化の推進、新憲法の制定、冷戦のはじまり、占領政策の転換、朝鮮戦争、講和への道、その後の経済成長について考察できる。	
	独立後の政治と対外関係		
第2章 現代日本の国民生活	経済発展と国民生活の変化	冷戦終結後の国際社会の変化と日本の状況について考察できる。	

令和5年度シラバス

科目:地理A	単位:2	学科:土木科	学年:3年 選
教科書:帝国書院「高等学校 新地理A」 帝国書院「新詳高等地図」		補助教材:帝国書院「新地理Aノート」	
<p>科目の概要と目標: 現代世界の地理的な諸課題を、地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
<p>第1部 世界の諸地域の姿と地球的課題</p> <p>1章 地球儀や地図からとらえる現代社会</p> <p>1節 地球上の位置と国家</p> <p>2節 グローバル化が進む世界</p> <p>2章 人間生活を取り巻く環境</p> <p>1章 人間生活を取り巻く環境</p> <p>1節 人々の生活と地形</p> <p>2節 人々の生活と気候</p> <p>3節 人々の生活と産業・文化</p>	<p>経度の違いと時差、球面と平面の世界、国家の領域と国境、日本の領域と領土問題</p> <p>交通・通信・貿易、観光の国際化</p> <p>世界の大地形、小地形と生活</p> <p>気候帯と生活</p> <p>生活を支える世界の農業・工業・文化</p>	<p>緯度・経度の違いが経済活動に影響を与えていることを知る。国家の領域と国境について問題点を知る。</p> <p>交通・通信の発達により国家間の結びつきが変化したことを理解する。</p> <p>人々の生活に影響を与える自然環境と社会環境について考察する。内的営力と外的営力の影響を受けて、今後も地形は変化し続けるという点を理解する。気候の特徴と人間生活との関わりについて考察する。農業の発達と自給的農業・商業的農業について理解する。さまざまな製品をつくる工業の発達と種類について理解する。</p>	
<p>3章 世界の諸地域の生活・文化</p> <p>1節 中国の生活・文化</p> <p>2節 韓国の生活・文化</p> <p>3節 東南アジアの生活・文化</p> <p>4節 インドの生活・文化</p> <p>5節 中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化</p> <p>6節 サハラ以南のアフリカの生活・文化</p> <p>7節 ヨーロッパの生活・文化</p> <p>8節 ロシアの生活・文化</p> <p>9節 アングロアメリカの生活・文化</p> <p>10節 ラテンアメリカの生活・文化</p> <p>11節 オーストラリアの生活・文化</p>	<p>世界各地の自然環境、歴史と社会と民族、農業と工業など産業の変化、日本との結びつき</p>	<p>世界の11地域について、グローバル化に伴う経済や産業、文化における変化など考察する。変化の激しい現代世界の「今」を的確にとらえられるようにする。各地域では、地形や気候、現在の姿を作り上げてきた歴史的背景などを理解する。諸地域の特徴的な生活・文化がどのように形成されてきたのか考察することで、自然環境・社会環境の両面からとらえられるようにする。各地域の具体的な生活・文化のようすなどを理解する。またさまざまな地域と日本との経済や、文化、産業などを通じた交流を考察する。</p>	
<p>4章 地球的課題と私たち</p> <p>1節 複雑にからみ合う地球的課題</p> <p>2節 世界の環境問題</p> <p>3節 世界の資源・エネルギー問題</p> <p>4節 世界の人口問題</p> <p>5節 世界の食料問題</p> <p>6節 世界の都市・居住問題</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球規模で直面している深刻な課題について、どのような地域の特徴があるかを理解する。</li> <li>・地球的課題について、世界の国々がどのように対応しているのか考察する。</li> <li>・地球的課題の背景には、先進国と発展途上国との経済的格差があることを理解する。</li> </ul>	
<p>第2部 身近な地域の課題</p> <p>1章 身近にあるさまざまな地図</p> <p>2章 日本の自然環境と防災</p> <p>3章 身近な地域の課題と地域調査</p>		<p>身のまわりには、さまざまな一般図と主題図があることを理解する。</p> <p>日本の自然環境がどのような自然災害と結びつくか考察する。</p> <p>身近な地域の課題を考察し、調査方法を理解し、発表方法を習得する。</p>	

令和5年度シラバス

科目: 日本史A	単位: 2	学科: 生活環境科	学年: 3年 選
教科書: 第一学習社「高等学校改訂版 日本史A 人・くらし・未来」		補助教材: 浜島書店「新詳日本史」	
<p>科目の概要と目標:          近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を、我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させることによって、歴史的思考力を養う。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
第1部 私たちの時代と歴史			
第2部 近代の日本と世界	近代への胎動	近代を迎える日本の状況と日本が抱えていた内憂外患について考察する。	
第1章 近代国家の形成と国際関係の推移	明治維新	アヘン戦争とアメリカの登場、開国、開国の影響について考察できる。  尊王攘夷と公議の運動、新秩序の模索と内戦、身分制の廃止と国民の創出、士族反乱の鎮圧について考察できる。	
	近代国家の確立  対外関係の変化 政党政治の展開	自由民権運動の展開と憲法制定等に続く立憲政治の展開について考察できる。  日本の政党政治の発展とワシントン体制について考察できる。	
第2章 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢	近代産業の発展と社会運動の展開	日清日露戦争の影響と産業革命を経た日本社会の変容について考察できる。	
	国民生活の変化と文化		
第3部 現代日本と世界	第一次世界大戦と日本	金融恐慌の発生、世界恐慌と禁輸出解禁、田中内閣外交と内政、満州事変の勃発、日本の国際連盟脱退、政党内閣崩壊、二・二六事件について考察できる。	
	第二次世界大戦と日本	日中戦争の勃発・長期化、第二次世界大戦の勃発、新体制運動、日独伊三国同盟、日米開戦、敗戦への道、ポツダム宣言受諾について考察できる。	
第1章 現代の日本と世界	日本の再出発 独立後の政治と対外関係	アメリカによる占領、民主化の推進、新憲法の制定、冷戦のはじまり、占領政策の転換、朝鮮戦争、講和への道、その後の経済成長について考察できる。	
	第2章 現代日本の国民生活	経済発展と国民生活の変化	冷戦終結後の国際社会の変化と日本の状況について考察できる。

令和5年度シラバス

科目:地理A	単位:2	学科:生活環境科	学年:3年 選
教科書:帝国書院「高等学校 新地理A」 帝国書院「新詳高等地図」		補助教材:帝国書院「新地理Aノート」	
<p>科目の概要と目標: 現代世界の地理的な諸課題を、地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
<p>第1部 世界の諸地域の姿と地球的課題</p> <p>1章 地球儀や地図からとらえる現代社会</p> <p>1節 地球上の位置と国家</p> <p>2節 グローバル化が進む世界</p> <p>2章 人間生活を取り巻く環境</p> <p>1章人間生活を取り巻く環境</p> <p>1節 人々の生活と地形</p> <p>2節 人々の生活と気候</p> <p>3節 人々の生活と産業・文化</p>	<p>経度の違いと時差、球面と平面の世界、国家の領域と国境、日本の領域と領土問題</p> <p>交通・通信・貿易、観光の国際化</p> <p>世界の大地形、小地形と生活</p> <p>気候帯と生活</p> <p>生活を支える世界の農業・工業・文化</p>	<p>緯度・経度の違いが経済活動に影響を与えていることを知る。国家の領域と国境について問題点を知る。</p> <p>交通・通信の発達により国家間の結びつきが変化したことを理解する。</p> <p>人々の生活に影響を与える自然環境と社会環境について考察する。内的営力と外的営力の影響を受けて、今後も地形は変化し続けるという点を理解する。気候の特徴と人間生活との関わりについて考察する。農業の発達と自給的農業・商業的農業について理解する。さまざまな製品をつくる工業の発達と種類について理解する。</p>	
<p>3章 世界の諸地域の生活・文化</p> <p>1節 中国の生活・文化</p> <p>2節 韓国の生活・文化</p> <p>3節 東南アジアの生活・文化</p> <p>4節 インドの生活・文化</p> <p>5節 中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化</p> <p>6節 サハラ以南のアフリカの生活・文化</p> <p>7節 ヨーロッパの生活・文化</p> <p>8節 ロシアの生活・文化</p> <p>9節 アングロアメリカの生活・文化</p> <p>10節 ラテンアメリカの生活・文化</p> <p>11節 オーストラリアの生活・文化</p>	<p>世界各地の自然環境、歴史と社会と民族、農業と工業など産業の変化、日本との結びつき</p>	<p>世界の11 地域について、グローバル化に伴う経済や産業、文化における変化など考察する。変化の激しい現代世界の「今」を的確にとらえられるようにする。各地域では、地形や気候、現在の姿を作り上げてきた歴史的背景などを理解する。諸地域の特徴的な生活・文化がどのように形成されてきたのか考察することで、自然環境・社会環境の両面からとらえられるようにする。各地域の具体的な生活・文化のようすなどを理解する。またさまざまな地域と日本との経済や、文化、産業などを通じた交流を考察する。</p>	
<p>4章 地球的課題と私たち</p> <p>1節 複雑にからみ合う地球的課題</p> <p>2節 世界の環境問題</p> <p>3節 世界の資源・エネルギー問題</p> <p>4節 世界の人口問題</p> <p>5節 世界の食料問題</p> <p>6節 世界の都市・居住問題</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球規模で直面している深刻な課題について、どのような地域の特徴があるかを理解する。</li> <li>・地球的課題について、世界の国々がどのように対応しているのか考察する。</li> <li>・地球的課題の背景には、先進国と発展途上国との経済的格差があることを理解する。</li> </ul>	
<p>第2部 身近な地域の課題</p> <p>1章 身近にあるさまざまな地図</p> <p>2章 日本の自然環境と防災</p> <p>3章 身近な地域の課題と地域調査</p>		<p>身のまわりには、さまざまな一般図と主題図があることを理解する。</p> <p>日本の自然環境がどのような自然災害と結びつくか考察する。</p> <p>身近な地域の課題を考察し、調査方法を理解し、発表方法を習得する。</p>	



令和5年度シラバス

科目:物理	単位:4	学科:普通科	学年:3年 選
教科書:数研出版「改訂版 物理」		補助教材:啓林館「センサー総合物理」 数研出版「2023物理重要問題集」 数研出版「チェック&演習物理」	
<p>科目の概要と目標: 物理的な事物・現象に対する探求心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
<p>第II章 波動</p> <p>1節 波の伝わり方</p> <p>2節 音波</p> <p>3節 光波</p> <p>第I章 運動とエネルギー</p> <p>4節 気体の性質と分子の運動</p> <p>第III章 電気と磁気</p> <p>1節 電荷と電場</p> <p>2節 電流</p> <p>3節 電流と磁場</p> <p>4節 電磁誘導と交流</p> <p>第IV節 原子</p> <p>1節 電子と光</p> <p>2節 原子と原子核</p>	<p>波の干渉・反射・回折・屈折</p> <p>ドップラー効果</p> <p>光の性質</p> <p>レンズと鏡</p> <p>光の回折・干渉</p> <p>気体の法則</p> <p>気体の分子運動</p> <p>気体の内部エネルギーと仕事</p> <p>電場と電位</p> <p>コンデンサー</p> <p>電流と抵抗</p> <p>直流回路</p> <p>半導体</p> <p>磁場</p> <p>電流が磁場から受ける力</p> <p>ローレンツ力</p> <p>電磁誘導</p> <p>交流</p> <p>電磁波</p> <p>電子</p> <p>光の粒子性</p> <p>X線</p> <p>粒子の波動性</p> <p>原子の構造</p> <p>原子核と放射線</p> <p>核反応とエネルギー</p> <p>素粒子と宇宙</p>	<p>波の干渉反射回折屈折について理解する。</p> <p>ドップラー効果について理解する。</p> <p>光の分散、散乱、偏光について理解する。</p> <p>レンズ、鏡による反射等を理解する。</p> <p>光の回折と干渉について理解する。</p> <p>ボイルシャルルの法則について理解する。</p> <p>気体の運動と圧力の関係について理解する。</p> <p>内部エネルギーについて、気体の分子運動と関連づけて理解する。</p> <p>電場と電位について理解する。</p> <p>コンデンサがつくる電場とその性質について理解する。</p> <p>電流と電子の動きについて理解する。</p> <p>様々な直流回路について理解する。</p> <p>半導体の性質と種類について理解する。</p> <p>様々な電流がつくる磁場について理解する。</p> <p>電流が受ける力の向きや大きさを理解する。</p> <p>ローレンツ力による運動について理解する。</p> <p>ファラデーの法則を理解する。</p> <p>交流の性質を理解する。</p> <p>電磁波の性質について理解する。</p> <p>電子の特性について理解する。</p> <p>光電効果について理解する。</p> <p>コンプトン効果について理解する。</p> <p>光の二重性について理解する。</p> <p>スペクトルとエネルギー準位の間関係を理解する。</p> <p>原子核を構成する粒子の分類と、表記方法を理解する。</p> <p>原子核の質量欠損と結合エネルギーの関係について理解する。</p> <p>宇宙の起源について理解する。</p>	

令和5年度シラバス

科目:化学	単位:3	学科:普通科	学年:3年
教科書:実教出版「化学」		補助教材:実教出版「アクセスノート化学」 第一学習社版「スクエア最新図説化学」	
<p>科目の概要と目標: 身近な反応から、一見複雑に見える化学の諸現象も簡単な原理や法則からできていることを理解させる。科学と人間生活との関連も理解させる。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
3. 無機物質	(1)周期表	周期表と元素の分類の仕組みを理解する。	
	(2)非金属元素	非金属元素の単体と化合物の、性質・特徴・反応性を理解する。	
	(3)金属元素	金属元素の単体と化合物の、性質・特徴・反応性を理解する。	
	(4)無機物質と人間生活	日用品や道具の中に無機物質が利用されていることを理解する。	
4. 有機化合物	(1)有機化合物の特徴と分類	有機化合物の特徴やその分類のしたかが理解できる。	
	(2)脂肪族炭化水素	代表的な脂肪族化合物の特徴や性質を理解する。	
	(3)酸素を含む脂肪族化合物	酸素を含む脂肪族炭化水素の性質・反応性を理解する。	
	(4)構造式の決定	構造式決定の方法を学ぶ。	
	(5)芳香族化合物	芳香族化合物の種類と反応について理解する。	
	(6)有機化合物と人間生活	身の回りの有機化合物の特徴を理解する。	
5. 高分子化合物	(1)高分子化合物	高分子化合物の分類や特徴を理解する。	
	(2)合成高分子化合物	合成繊維や合成樹脂の構造や性質を理解する。	
	(3)天然高分子化合物	天然に存在する高分子化合物を化学的な立場で理解する。	
	(4)高分子化合物と人間生活	身の回りの高分子化合物の利用について理解する。	

令和5年度シラバス

科目:生物	単位:4	学科:普通科	学年:3年 選
教科書:数研出版「生物」		補助教材:「スクエア最新図説生物」 「リードα生物」	
<p>科目の概要と目標: 生物や生物現象についての観察, 実験などを行い, 自然に対する関心や探究心を高め, 生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに, 基本的な概念や原理・法則を理解させ, 科学的な自然観を育てる。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
第3部 生物の環境応答 第7章 植物の環境応答	1. 植物の環境応答と植物ホルモン  2. 植物の環境応答とそのしくみ	環境変化に応じた植物の成長について理解する。  光に対する環境応答の例について理解する。 花芽形成における環境応答について理解する。 また、その他の環境応答も理解する。	
第8章 動物の反応と行動	1. 刺激の受容と反応  2. 動物の行動	刺激の受容を理解する。 神経系について理解する。 いろいろな効果器と反応について理解する。 生得的な行動を理解する。 学習による行動を理解する。	
第4部 生物と環境 第9章 個体群と生物群集	1. 個体群  2. 生物群集	個体群動態について理解する。 個体群内の相互作用について理解する。 個体群間の相互作用について理解する。 多様な種が共存するしくみについて理解する。 環境形成作用と多種の共存について理解する。	
第10章 生態系	1. 生態系の物質生産  2. 生態系と生物多様性	生態系における物質生産について理解する。 生態系におけるエネルギーの移動を理解する。 生物多様性の3つのとらえ方について理解する。 生態系の攪乱と生物多様性を理解する。 生物多様性保全の意義について理解する。	
第5部 生物の進化と系統 第11章 生物の進化	1. 進化のしくみ  2. 生物の起源と生物の変遷	進化の証拠について理解する。 進化のしくみについて理解する。 生命の誕生について理解する。 原核生物から真核生物へについて理解する。 地球環境の変化について理解する。 生物界の変遷について理解する。	
第12章 生物の系統	1. 生物の分類の変遷と系統 2. 生物の系統関係	生物の分類と系統について理解する。 真核生物の系統関係について理解する。	

令和5年度シラバス

科目:科学と人間生活	単位:2	学科:土木科	学年:3年
教科書:第一学習社	改訂「科学と人間生活」	補助教材:第一学習社「改訂 ネオパルノート科学と人間生活」	
<p>科目の概要と目標:                  自然の事物現象に対する関心や探求心を高め、目的意識を持って観察、実験を行い、科学的に探究する能力と態度を育てる。                  科学の基本的な概念や思考力を身につける。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
1編 科学技術の発展	科学と技術の始まり エネルギー資源の活用と交通手段の発展 生物学と医療	現代の文明が科学によって支えられ発展してきたことを知る。 エネルギー資源についての理解を深める。 医療の発展と病気についての理解を歴史的に知る。	
2編 人間生活の中の科学	熱と温度	熱を粒子の運動の激しさと結びつけて理解する。	
1章 物質の科学	物質の成り立ち	物質を原子の視点で見ることができる。	
1節 材料とその利用	セラミックスと金属 プラスチックと高分子化合物 物質のリサイクルと再利用	金属の精製やプラスチックの合成と利用について理解する。 プラスチックの性質特徴について理解する。 主に石油製品のリサイクルについて知る。	
2節 衣料と食品	衣類を構成する繊維 糖類と油脂 アミノ酸とタンパク質 酵素	天然の繊維と人工の繊維について特徴を知る。 糖類と油脂の構造と性質について知る。 タンパク質を構成するアミノ酸の構造と特徴を知る。 酵素の働きと構造を知る。	
2章 生命の科学	食品 光合成	食品を構成する主な成分について理解する。 光合成の概要及び光合成産物の行方を知る。	
1節 生物と光	植物の生育と光 動物の行動と光 目の構造と光	植物の生育に光が必要なことを知る。 日光による明暗変化が動物に影響を与えていることを知る。 動物の目の仕組みについて理解する。	
2節 微生物とその利用	微生物の発見 発酵と腐敗 微生物と医療 自然界における微生物の役割	微生物の発見の歴史を知る。 微生物のはたらきと人間の生活の関わりを知る。 微生物が医薬品を作ることに役立つことを知る。 微生物の働きが生態系で果たす役割を知る。	
3章 熱や光の科学	熱容量と比熱	熱の移動と熱量保存則を理解する。	
1節 熱の性質とその利用	熱と仕事 仕事とエネルギー	物質の状態変化と仕事について理解できる。 エネルギー保存の法則の考え方ができる。	
2節 光の性質とその利用	光の性質 光とレンズ 光の性質2 光と技術の発展	光の屈折と反射による像のでき方を知る。 レンズによる像のでき方を知る。 光の回折、干渉、偏光性を知り、様々な光の現象を理解する。 光の利用技術について理解する。	
4章 地球や宇宙の科学	宇宙から見た地球	宇宙視点で見た地球の様子を想像することができる。	
1節 身近な自然景観と自然災害	自然景観のでき方 日本の自然の特徴	自然の営みの中でできる景観の出来方を知る。 日本列島の特徴について理解する。	
2節 身近な天体と太陽系における地球	地球から見た天体の動き 水の惑星 地球	太陽の日周運動や年周運動を理解する。 生命の存在と水の関係を理解する。	
3編 これからの科学と人間生活	これからの科学技術と人間 課題研究	科学技術の成果と今後の人間生活の関わりについて考察を深め探究する。	

令和5年度シラバス

科目:科学と人間生活	単位:2	学科:生活環境科	学年:3年
教科書:第一学習社 改訂「科学と人間生活」		補助教材:第一学習社「改訂 ネオパルノート科学と人間生活」	
<p>科目の概要と目標:                  自然の事物現象に対する関心や探求心を高め、目的意識を持って観察、実験を行い、科学的に探究する能力と態度を育てる。                  科学の基本的な概念や思考力を身につける。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
1編 科学技術の発展	科学と技術の始まり エネルギー資源の活用と交通手段の発展 生物学と医療	現代の文明が科学によって支えられ発展してきたことを知る。 エネルギー資源についての理解を深める。 医療の発展と病気についての理解を歴史的に知る。	
2編 人間生活の中の科学	熱と温度	熱を粒子の運動の激しさと結びつけて理解する。	
1章 物質の科学	物質の成り立ち	物質を原子の視点で見ることができる。	
1節 材料とその利用	セラミックスと金属 プラスチックと高分子化合物 物質のリサイクルと再利用	金属の精製やプラスチックの合成と利用について理解する。 プラスチックの性質特徴について理解する。 主に石油製品のリサイクルについて知る。	
2節 衣料と食品	衣類を構成する繊維 糖類と油脂 アミノ酸とタンパク質 酵素	天然の繊維と人工の繊維について特徴を知る。 糖類と油脂の構造と性質について知る。 タンパク質を構成するアミノ酸の構造と特徴を知る。 酵素の働きと構造を知る。	
2章 生命の科学	食品	食品を構成する主な成分について理解する。	
1節 生物と光	光合成 植物の生育と光 動物の行動と光 目の構造と光	光合成の概要及び光合成産物の行方を知る。 植物の生育に光が必要なことを知る。 日光による明暗変化が動物に影響を与えていることを知る。 動物の目の仕組みについて理解する。	
2節 微生物とその利用	微生物の発見 発酵と腐敗 微生物と医療 自然界における微生物の役割	微生物の発見の歴史を知る。 微生物のはたらきと人間の生活の関わりを知る。 微生物が医薬品を作ることに役立つことを知る。 微生物の働きが生態系で果たす役割を知る。	
3章 熱や光の科学	熱容量と比熱	熱の移動と熱量保存則を理解する。	
1節 熱の性質とその利用	熱と仕事 仕事とエネルギー	物質の状態変化と仕事について理解できる。 エネルギー保存の法則の考え方ができる。	
2節 光の性質とその利用	光の性質 光とレンズ 光の性質2 光と技術の発展	光の屈折と反射による像のでき方を知る。 レンズによる像のでき方を知る。 光の回折、干渉、偏光性を知り、様々な光の現象を理解する。 光の利用技術について理解する。	
4章 地球や宇宙の科学	宇宙から見た地球	宇宙視点で見た地球の様子を想像することができる。	
1節 身近な自然景観と自然災害	自然景観のでき方 日本の自然の特徴	自然の営みの中でできる景観の出来方を知る。 日本列島の特徴について理解する。	
2節 身近な天体と太陽系における地球	地球から見た天体の動き 水の惑星 地球	太陽の日周運動や年周運動を理解する。 生命の存在と水の関係を理解する。	
3編 これからの科学と人間生活	これからの科学技術と人間 課題研究	科学技術の成果と今後の人間生活の関わりについて考察を深め探究する。	

令和5年度シラバス

科目: 体育	単位: 普通科・生活環境科2、土木科3	学科: 全学科	学年: 3年
教科書: 大修館「現代高等保健体育改訂版」		補助教材: 大修館「Active Sports 2020」	
<p>科目の概要と目標:          ・自己の課題やチームの課題を持ち、その課題の解決のために、練習の仕方や試合の仕方を考えたり工夫したりできるようにさせる。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
体育理論	豊かなスポーツライフの設計の仕方	各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方やライフスタイルに応じたスポーツとのかかわり方について理解できる。 スポーツ振興や環境保護について理解できる。	
体づくり運動	体の使い方 補強運動 サーキットトレーニング	いろいろな動きを一人やペアになってできる。 いろいろなトレーニング方法を理解できる。	
新体力テスト	記録の測定と評価方法	測定方法とその評価方法が理解できる。	
<b>【選択領域】</b>			
陸上競技 ・・・A	走・跳・投の基礎基本	基礎基本を理解し、記録向上に結びつけることができる。	
ダンス ・・・B	創作ダンス  リズムダンス	自己の能力に応じて、感情を自由に表現したり、楽しく踊ったりできる。 作品にまとめ、交流、発表ができる。	
サッカー	基本技能	パス・ドリブル・シュート等の基本技術をゲームに生かすことができる。	
ソフトボール	基本技能	キャッチボール・トスバッティング等の技術をゲームに生かすことができる。	
テニス	基本技能	フォアハンド・ストロークやアンダーハンドサーブ等の技術をゲームに生かすことができる。	
バレーボール	基本技能	パス・レシーブ・アタック等の基本技術をゲームに生かすことができる。	
バスケットボール	基本技能	パス・ドリブル・シュート等の基本技術をゲームに生かすことができる。	
バドミントン	基本技能	クリア・ドライブ・サーブ等の基本技術をゲームに生かすことができる。	
ハンドボール	基本技能	パス・ドリブル・シュート等の基本技術をゲームに生かすことができる。	
・・・C(球技)			
柔道	基本動作 受け身 投げ技	柔道固有の基本動作ができる。 安全な受け身姿勢ができる。 安全に技をかけて投げることができる。	
剣道	基本動作 打ち込み	構え・足さばき・素振りなどの基本動作を習得できる。 面打ち・胴打ち・小手打ちなどの技術を習得できる。	
・・・D(武道)			
A,B,C,Dの中から 2領域以上選択			

令和5年度シラバス

科目:課題研究	単位:3	学科:土木科	学年:3年
教科書:なし		補助教材:専門教科 各教科書他	
<p>科目の概要と目標: 土木分野に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、統合を図るとともに問題解決能力や自発的、創造性を育てる。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
作品製作	テーマ毎に班分けする。	与えられた研究テーマから研究内容を設定する。 これまでに習得した知識や技術を活用し、更に新しい知識と技術を学びながら作品を完成させる。	
	1, 計画 ①テーマ ②年間計画	施工場所確認、目的・目標の確認、仕様、予算についての検討。	
	2, 事前調査 ①現地調査 ②基本計画	現況について下調べ。	
	3, 図面・見積 ①設計図 ②積算・見積	図面を作成し、必要な材料・物品を検討する。	
	4, 施工、管理 ①実施 ②問題点の解決	計画通りに作業を進める。 運用してみて問題があれば改善する。	
	5, 中間発表 ①資料作成 ②発表	ガンピなどにこれまでの取り組みをまとめ、中間発表する。	
	6, 成果の確認・片付け	施工前、施工後の比較。	
	7, プレゼンテーション準備 ①資料作成 ②プレゼン準備	・パワーポイントを使い自分たちが行った研究をまとめることができる。	
	8, 発表	・班で協力し、わかりやすい発表ができる。	
職業資格の取得	学習方法の企画・立案・実践	取得を希望する職業資格や各種検定試験の学習を通して、専門的な知識や技術を習得させ、自らの進路意識を高め、適切な進路選択に役立てさせる。	

令和5年度シラバス

科目:課題研究	単位:3	学科:生活環境科	学年:3年
教科書:なし		補助教材:なし	
<p>科目の概要と目標: 生活産業の各分野に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、統合を図るとともに問題解決能力や自発的、創造性を育てる。</p>			
単元	学習内容	到達目標	
オリエンテーション	研究方法の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の進め方や今後の心構えを理解する。</li> </ul>	
研究及び調査の手法を学ぶ	調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査、研究、実験などの調査方法を理解する。</li> </ul>	
	調査の実施及び活用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査内容など、Excelを活用したグラフ化や分析・考察することができる。</li> </ul>	
テーマの決定	研究テーマの設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活産業に関する課題を発見し、テーマ設定をすることができる。</li> </ul>	
年間学習計画作成	年間計画作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究目標を的確に把握し、年間計画が作成できる。</li> </ul>	
調査・研究・実験 作品製作	調査、研究、実験 作品製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に課題を設定し、課題を解決する調査、研究、実験、作品製作等を行うことができる。</li> <li>・課題を解決する力の向上を目指し、生活産業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むことができる。</li> </ul>	
研究発表	課題研究発表会 ・PowerPointの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を的確に理解し効果的に表現することができる。</li> <li>・課題研究発表会で学習の成果を発表することができる。</li> </ul>	
	報告書作成 ・Wordの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果をまとめ、報告書を作成することができる。</li> </ul>	
職業資格の取得	各種資格取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路意識を明確にし、学習計画を立て、資格取得を目指して取り組むことができる。</li> </ul>	
学校家庭クラブ活動	研究活動交流活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学習した知識と技術を生かして学校生活や地域生活の充実向上を目指して課題を設定し、その解決に取り組むことができる。</li> </ul>	